

**沖縄総合事務局 開発建設部 建設コンサルタント業務審査委員会
議事概要(港湾空港所管)**

開催日及び場所	平成22年7月26日(月) 沖縄総合事務局 4階 事業審査室	
委 員	委員長 原 久夫 (琉球大学工学部環境建設工学科 准教授) 委 員 渡嘉敷 直彦 (琉球大学工学部環境建設工学科 講師) 委 員 下里 哲弘 (琉球大学工学部環境建設工学科)	
対象案件	総件数 3 件	(備考)
建設 コンサルタント業務 専務	一般競争入札(総合評価落札方式)	件
	公募型プロポーザル方式	件
	簡易公募型プロポーザル方式	件
	簡易公募型に準じたプロポーザル方式	3 件
	標準プロポーザル方式	件
	公募型総合評価落札方式	件
	簡易公募型総合評価落札方式	件
	簡易公募型に準じた総合評価落札方式	件
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意 見 ・ 質 問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員による審議結果の内容	上記について、発注方式、評価基準、評価結果等の説明を行い、原案通り了承された。	

(別 紙)

意見・質問	回 答
<p>○事業の審議について</p> <p>1. 簡易公募型に準じたプロポーザル方式</p> <p>1) 那覇港臨港道路(橋梁)劣化対策検討業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 技術提案書の提出者数を明記しているか。 ○ 技術提案書において、過去のデータを活用しているならば、引用元を記載するよう明記させた方が良い。 <p>2) 那覇空港航空貨物輸送試行調査業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ヒアリング評価に0点の項目が無ければ欠格ではないということであるが、ヒアリングを含めた技術提案書の評価が、最も高い者で中間程度の評価値となっているが。 <p>3) 那覇空港航空貨物高度利用検討調査業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 上記、2)輸送試行調査業務を本業務に含めることは出来ないのか。 <p>4. その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務説明書4. (3)提出者を選定するための基準1)により、原則5者として明記している。 ・ 過年度の報告書を閲覧し得られたデータであるが、引用元を明記するよう今後対応していきたい。 ・ ヒアリングの評価でもその差が表れているが、5段階評価ウェートを用いており、プレゼンテーションを含めた総合的な評価を行っている。ヒアリングはその中間値を標準とした評価を実施しており、今回のヒアリングを含めた技術提案書の評価点も中間値程度である。 ・ 実証実験が特殊な業務であることなど、各々の業務の特性を考慮し高度利用検討調査業務と分けて発注した方が妥当と判断した。